



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより12号
校長 芹澤 敏光
令和6年3月25日

式 辞

校 長 芹澤 敏光

桜のつぼみも開花間近の膨らみを見せ、春の息吹を感じるようになりました。本日は、府中市教育委員会教育部 指導室長補佐 南學 進 様、府中市市長部局 都市整備部計画課長補佐 國分 大樹 様をはじめ、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもとに、第44回卒業式が挙行できますことをとても嬉しく思っています。心より感謝とお礼を申し上げます。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。今年度の卒業式は、5年ぶりに全校生徒、保護者、ご来賓の皆様がそろそろ形での実施となりました。みなさんにとって中学校生活3年間はコロナ禍の影響がまだ残る中でのスタートでした。学年、クラスの結束を固めるために予定され、楽しみにしていた河口湖での宿泊学習は日帰りとなり、学校行事も基本的に学年別での実施で、悔しい思いをした人がたくさんいました。その後徐々に制限が緩和され、今年度の5月の大型連休明けには、新型コロナウイルスの法令上の扱いが変更となり、社会生活、学校生活がコロナ以前の状況に戻っていますが、それまでの卒業生のみなさんの頑張りには本当に頭の下がる思いがします。

先日の音楽祭では、5年振りに制限がない形で実施できましたが、みなさんの立派な態度が、3年間の中学校生活を象徴していました。自分たちは行事等で上級生の姿を参考にできなかったこともありましたが、「上級生の姿を見て、下級生が育つ」という、本校の伝統を見事に受け継いでくれたと感じています。

今日の卒業の節目、義務教育終了にあたり、これまで積み重ねてきた努力をじっくりと振り返ってみてください。喜びや感動、そして、辛抱することが多い中で誰もが感じた不安や悩み、悲しさ、悔しさなど、全ての思いをみなさんと共有し、今までみなさんを支え、大切に育ててくださった保護者の方に感謝の気持ちを、心を込めて言葉で伝えてください。

さて、今後のみなさんの人生が、心豊かで充実し、輝かしいものとなることを願い、三つのこととお話ししたいと思います。

一つ目は、努力と誠実さ、正義を大切にしてほしいということです。これは本校が目指す生徒像の最初に掲げていることでもあります。古来、小さな努力の積み重ねを重要視する言葉は様々な形で言い伝えられています。日本とアメリカのプロ野球界で数々の偉業を成し遂げたイチローさんも、「小さなことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただ一つの道だと思っています」と語っています。同じく日米両国の野球界で活躍し、国民栄誉賞を受賞した松井秀喜さんは

あるインタビューで、常に全力でプレーしている理由を問われた時に、「お小遣いを何か月も貯めてやっとの思いでジャイアンツ戦のチケットを手に入れて、胸をわくわくさせながらこの日を楽しみにスタンドで観戦している子供が一人でもいるかと思うと、全力でプレーして応える気持ちにしかありません」と語っています。

このような言葉に接するたびに、人間を心身ともに強くするのに、ひたむきな努力や物事に誠実に取り組むことに勝るものはないと痛感します。みなさんも今後、時には失敗をしたり、心が折れそうになったりすることがたくさんあると思います。しかし大切なのはそこで歩みを止めないことです。たとえゆっくりでもいいから前に進み続けることです。そうすれば新たな工夫が生まれたり、別の道が開けたりします。前進あるのみです。

また、ひとたび国際社会へ目を向けると、戦争や紛争が後を絶たず、おびただし数の尊い人命が失われ続け、正義ということが都合のいいように解釈されているくらいがあります。そして、AI・人工知能などの科学技術の進歩によって、様々な価値観が悪意をもって偏った方向に誘導されてしまう危険性も急速に増大しています。そのような状況で、一人一人が確固たる信念に基づいた人としての行い、正義を心に刻み付けながら行動することの必要性が非常に増しています。真実を見極める目を養いながら、自分の身の回りから、広く世の中の動きまで注視しながら行動する姿勢を大切にしてください。

二つ目は人とのつながり、関わりを大切にしてほしいということです。人間が人間である限り、決して人との関りなしには生きていくことが出来ません。生まれてから亡くなるまで、何らかの形で人との関りの中で生活していくことになります。中学校の中ではそれが非常に密度の濃い友人関係という形で主に表れていた訳です。やがて学校生活から広く社会生活へ身を置くことの割合が徐々に増えていきます。その中で仕事や趣味などから充実感を味わうこともあるでしょう。しかしそこにも必ず人との関りが根底・背景にあるはずで

先日の音楽祭での3年生の学年曲の一つ虹の中に、僕らの出会いを誰かが別れと呼んだ、僕らの別れを誰かが出会いと呼んだ、という歌詞がありました。きっとみなさんの心に染み入ったと思いますが、今後みなさん自身、そしてみなさんの周囲の人々との間も含め、様々な出会いと別れが繰り返されていきます。その時に、広く人間関係は目に見えない貴重な財産になるという意識をもつことが、人生を心豊かなものにしてくれると思います。

三つめは常に謙虚な姿勢を大切にしてほしいということです。我以外、皆、我が師という格言があります。多くの著名人が座右の銘としていることで、取り上げられることも多いものです。自分以外の、人でも物でも皆、自分に何かを教えてくれる先生だということです。そんな謙虚な心持で生活することで人はより磨かれていくという教えです。

私達は皆、この世に生を受けるときには、言葉も何も知らない純粋な心で生まれてきます。そして、親から、友達から、学校の先生方から、自然から、いろいろなことを吸収し学んで成長していきます。ところが、いつのまにか「学ぶ心」

を忘れ、時に傲慢になり、人の未熟さをあげつらうようになってしまうこともあります。謙虚な姿勢でいればいるほど、それだけ広くたくさんの方のことを学ぶことになり、心に栄養を与えることが出来ます。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。これからもお子様のよさや可能性を温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。この3年間、ご支援、ご協力をいただき本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

創立30周年を記念して作られた、本校の愛唱歌である「新しい朝」にある、「この場所で出会えたこと かけがえのない毎日は いつか旅立つ日が来ても消えることはないから」という言葉そのままに、今旅立ちの時が来ました。本日卒業する120名のみなさんの今後のさらなる心豊かな成長を通して、一人一人の人生が実り多きものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和6年3月19日

【令和6年度主な予定】

- 4月 8日（月）始業式 9日（火）入学式 20日（土）保護者会
- 5月10日（金）進路説明会 部活動保護者会
- 5月14日（火）ふれあい自然教室（1年）～15日
- 5月19日（日）修学旅行（3年）～21日
- 6月 1日（土）運動会 5日（水）運動会予備日
- 7月19日（金）終業式
- 8月29日（木）始業式 31日（土）中学校区引渡し訓練
- 10月26日（土）道徳授業地区公開講座 11月30日（土）作品展示会始
- 12月25日（水）終業式
- 1月 8日（水）始業式 1月11日（土）土曜授業
- 3月12日（水）音楽祭
- 3月19日（水）卒業式
- 3月25日（火）修了式

【生徒の活躍】

- マンガ感想文コンクール2023 団体賞 府中第十中学校
- 第23回全国中学校総合文化祭 展示の部 書道 表彰 2年生1名
- 第63回東京都中学校 書き初め紙上展出品
 - 金賞 1年生3名、2年生2名
 - 推薦 2年生1名
- 令和5年度資源循環推進標語コンクール
 - 優秀賞 1年生1名 優良賞 1年生2名
- 府中市小・中学生の人権作文優良賞
 - 優良賞 1年生1名